

**フジパンググループPresents 2026 ロバパンCUP
第58回全道U-12サッカー大会 釧路地区予選
兼 第55回道新旗U-12釧路サッカー大会**

開催要項

- 1, 目的 釧路の少年サッカーのレベル向上を図るとともに、2025年度第57回全道サッカー少年団大会に釧路地区代表として出場するチームを決定する。
- 2, 名称 フジパンググループPresents2026ロバパンCUP第58回全道U-12サッカー大会釧路地区予選 兼 第55回道新旗U-12釧路サッカー大会
- 3, 主催 釧路地区サッカー協会 北海道新聞釧路支社
- 4, 主管 釧路地区サッカー協会4種委員会
- 5, 後援 釧路市教育委員会
- 6, 期日 2026年7月25日(土)、7月26日(日)
- 7, 会場 白糠町スポーツ広場
- 8, 参加資格
 - ① 2026年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」であること。
※合同チームでの参加は「(公財)北海道サッカー協会第4種大会における合同チームの参加規定について」に記載されている内容が満たされていることを条件とする。
 - ② 参加選手は、「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)北海道サッカー協会第4種登録選手であること。
 - ③ 選手エントリーは16名以内とし、学年構成は問わない。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
 - ④ 本大会参加選手は、スポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
 - ⑤ 帯同審判を2名以上帯同できるチーム。審判業務を最優先で行うこと。帯同審判のうち1名は3級以上の審判とする。
- 9, 競技規則 競技規則は、本年度(公財)日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則』及び『8人制サッカー競技規則』による。
ただし、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める。
- 10, 競技方法
 - (1) トーナメント方式とする。
 - ① 勝敗が決しない場合は、PK方式(3人ずつ)で次回進出チームを決する。
決勝のみ6分間(3分ハーフ)の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK方式(3人ずつ)で優勝チームを決定する。
 - ② 決勝トーナメント1回戦で敗戦したチームは、交流試合に参加すること。
 - (2) 競技者の数および交代
 - ① 1チーム8人の競技者によって行われる。
 - ② 選手登録数は16名以内とする。
 - ③ 登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。
交代の回数は制限されない。
 - ④ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で試合の停止中に入れ替わることができる。
 - (3) ベンチ入りの人数
 - ① ベンチ入りは交代要員8名以内、引率指導者2名以上4名以内とする。
その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
 - ② ベンチ入りするチーム指導者全員がJFA公認コーチ資格(D級以上)を有することとするが、メディカルトレーナーはライセンスを保有しなくても良い。ただし、戦術的な指示やコーチングを行うことはできない。メディカルトレーナー枠を行使する場合は、ピブス等を

着用するなど自チームで準備し、ゲーム関係者が把握できるようにすること。

- ③ メディカルトレーナー枠を行使する場合は、事前に大会事務局に連絡し承認を得ること。また、対象となる試合に提出するメンバー表に氏名を記載すること。
- (4) 参加チームは試合開始前にメンバー表を提出する。第1試合に提出したメンバーが、本大会のエントリー選手となる。
- (5) テクニカルエリアは設置しない。
- (6) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2名以内とする。
- (7) 懲罰
 - ① 本大会において退場させられた者は、次の1試合に出場できない。そのチームの最終試合の場合は、次のエントリー大会に持ち越す。
 - ② 競技者が退場を命ぜられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
 - ③ 1試合停止以降の処置については、本大会の規律委員会（4種事務局）で決定する。
 - ④ 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (8) 試合時間は30分(15分ハーフ・ハーフタイム5分)とする。ただし決勝は40分(20分ハーフ・ハーフタイム5分)とする。
- (9) 試合球は4号球（公認球）とする。
- (10) スパイクは固定スタッドとし、レガースの着用を義務付ける。
- (11) ピッチサイズは68m×50mを基本とし、少年用サッカーゴールを使用する。
- (12) 主審、副審（2名）、予備審判の4名で運営する。
- (13) 準決勝以上の試合においては、マッチウエルフェアオフィサーを配置する。

- 11, ユニフォーム
 - ① (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
但し、②以下については、一部本大会の緩和規定として採用する。
 - ② 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
正・副の2色については、明確に異なる色とする。
ただし、ゴールキーパーのショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと原則として別色が望ましいが、同系色でも良いこととする。
なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。
 - ③ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - ④ アンダーシャツの色は問わないが、シャツの袖と違う色を着用する場合は、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑤ アンダーショーツ・タイツの色は問わないが、ショーツと違う色を着用する場合は、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑥ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを着用する。
 - ⑦ フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。
アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。
 - ⑧ ユニフォームチェックは、試合開始時刻の45分前に大会本部前で行う。
- 12, 全道大会 優勝チームは、9月19日(金)～9月21日(月)に十勝地区で開催される「第58回全道サッカー大会」への参加を義務づける。
- 13, 参加申込 4月17日(月)までに、4種総務部長へエントリー用紙をメールで送付する。
- 14, メンバー表 大会プログラム用のメンバー表は、7月8日(水)迄に、4種総務部長メールで送付する。
- 15, 組合わせ
 - ① 7月7日(火)の監督会議にて抽選を行う。
 - ② 2025年度「トラック協会杯第37回全道少年（U-11）大会釧路地区予選」のベスト4チーム（SC釧路、愛国ビクトリー、マーベイル昭和、朝陽SSM FC）をシードとする。

- | | | | |
|-------|---|---|---|
| 16, 開 | 会 | 式 | 行わない。 |
| 17, 閉 | 会 | 式 | 決勝戦終了後、決勝戦会場にて行う。
決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを基本とする。 |
| 18, そ | の | 他 | ① 本大会の参加料は、1チーム3,000円とする。
② 参加チームは初日に電子登録証（一覧表、電子媒体等）の確認を行う。
③ 審判を帯同できない場合は、1試合毎に1名につき3,000円の不帯同審判料を事務局に支払うこと。
④ 全道大会には3級審判員2名以上の帯同が義務づけられている。 |